

藤陽中学校部活動のアピールポイント

- ①校内で活動出来るので、移動に伴う無駄な時間や余計なお金がかからない
(下校時間があり、夏でも6時、冬は5時、それ以降は個人の自由)
- ②無駄な時間とお金を他に有効に使える。(家庭学習・塾・睡眠・休養・活動用品等)
- ③本校が試合会場になる事も多く、保護者の方に気軽に試合観戦応援していただける
 - ・南河内地区NO1のグラウンドの広さ→サッカーコート、縦100m、横68m
しかもサッカーコートの中にマウンドが入らない。(アップ面積もゆとりがある)
(※Jグリーンピッチサイズ、縦105m、横68m)
 - ・野球コート、レフト線75m、ライト線100m
 - ・テニスコート3面
 - ・南河内地区NO1の水はけの良さ→前日の大雨でも翌日、少しの整備で水溜りのほぼない状態で試合が出来る(他校で3日残る水溜りの量も本校では半日で水が引く)
 - ・体育館は、バスケットコート、全面1面(コート外も広さにゆとりがある)、練習試合なら半面の2面でも出来る。
 - ・音楽室は2か所、冷暖房完備
 - ・創作工芸部専用 farmがある。
- ④学校生活と部活動が連動しているので、行事やテストに対する配慮がしてもらえる
- ⑤部活を頑張る為には勉強をおろそかにできない。顧問の先生から勉強の指導も入り
勉強と部活の相乗効果も生まれる
- ⑥勉強をおろそかにしてスポーツ特待で高校進学すると、勉強不足のつけが、高校・大学・就職時に回ってきたり、高校の部活を辞める=高校を辞める、と言った例もみられる。藤陽中の部活生は、しっかり勉強と部活動を両立して、進学していく。
- ⑦学校内にクラスとは違う自分の居場所があり、学校に行く楽しみが2倍3倍になる
- ⑧顧問・担任・学年や授業の先生・校長先生・教頭先生、全ての先生が見守っている
- ⑨活躍すれば全校集会で表彰され、注目を浴びることによりモチベーションが上がる
- ⑩中学校ではクラブの友達が中心になり、同じクラブで活動する事により時間が合う
- ⑪部活動生だけの取組がある(あいさつ運動・部活リレー・部活動集会・部活紹介等)
- ⑫部活動の活動そのものは、基本無償。要るのは電車バスで対外試合に行く時ぐらい